

自校の指導ツールを他校の教師とともに検討し、各校の生徒特性に合った形へ改善を図る本コーナー。今回は、2年生1学期に実施される模試に向けて目的を持った主体的な学習を促す「模試への意識づけシート」について検討する。

2017年7月進研模試の記録

組 番 氏名

教科	評価	反省点と 今後の課題
国語	自己採点 点	
難易度	易 1 2 3 4 5 難	
時間	余裕 1 2 3 4 5 不足	
数学	自己採点 点	
難易度	易 1 2 3 4 5 難	
時間	余裕 1 2 3 4 5 不足	
英語	自己採点 点	
難易度	易 1 2 3 4 5 難	
時間	余裕 1 2 3 4 5 不足	



英語は実際の受験とは異なりますが、②の会話表現を解きましょう。
数学も選択問題を2題解く必要があります。解ける問題を出題範囲であらかじめチェックしておきましょう。
自己採点をしっかり行い、目標点との差から「どこで得点すればよいか」を自己分析して対策しましょう。

千葉県・私立成田高校では、2年生7月のベネッセの「進研模試」に向けて意識を高め、主体的な学習を促す目的で意識づけシートを活用している。5月に前年度の模試の問題を解いて自己採点をし、問題ごとの正答率を確認することで自分の弱点を把握して、模試本番までに強化する分野・単元を明確にすることがねらいだ。しかし、生徒の中には、弱点の確認はできたものの、部活動や学校行事に時間が取られ、具体的な学習行動に結びつかない者もいるという。そこで今回は、生徒にとって多忙が増す2年生1学期に、主体的な学習習慣を無理なく身につけさせていくための指導について話し合った。

模試の過去問題で自己分析させ、
主体的な学習を促したい

Before

千葉県・私立成田高校
佐藤杏奈先生提供

「2年生 1学期
模試への意識づけシート」

課題

- 1 模試の過去問題を利用した指導を行っているが、主体的な学習習慣の定着に結びついていない生徒がいる
- 2 生徒一人ひとりが学習上の優先課題を見つけ、計画的に学習を進められるようにしたいが、教師が個別に生徒をフォローする余裕がない

検討メンバー



ツール提供者

千葉県・私立
成田高校

佐藤杏奈

さとう・あんな



長野県
屋代高校・
附属中学校

宇都宮 仁

うつのみや・じん



高知県・私立
土佐塾中学・高校

藤澤佑介

ふじさわ・ゆうすけ

*プロフィールは2018年3月時点のものです

2年生 1学期 模試への意識づけシート

After

改良ポイント

1 個人シートで、教科の優先順位と必ずやることを決める

これまでのシートに「最低1日10分はやること」と教科の「優先順位」を記入する欄を設け、自分にとってのスマールステップを明確化する

2 グループシートを使って、グループ間で学習状況を競う

クラスを4～8人程度ずつのグループに分け、毎日「最低1日10分はやること」を達成できた人数分の○を、グループシートのマスに書き込み、その数を競う。グループは学習方法をアドバイスし合う集団としても機能させる

個人シート

2017年7月進研模試の記録

2年		組	番	氏名				
教科	評価				反省点と今後の課題	最低1日10分はやること	優先順位	
	自己採点	点						
	難易度	易	1	2				3
	時間	余裕	1	2	3	4	5	不足
国語	自己採点	点						
	難易度	易	1	2	3	4	5	難
	時間	余裕	1	2	3	4	5	不足
数学	自己採点	点						
	難易度	易	1	2	3	4	5	難
	時間	余裕	1	2	3	4	5	不足
英	自己採点	点						
	難易度	易	1	2	3	4	5	難
	時間	余裕	1	2	3	4	5	不足



グループシート

「模試までの〇〇日作戦」グループメンバー&進捗表

氏名		氏名						
氏名		氏名						
			5					10
			15					20
			25					30
			35					40



最優先課題を明確にしてグループで支え合う

模試の過去問題を解いた後、最低1日10分、毎日確実に継続できる学習内容を教科ごとに決め、優先順位をつけさせる。その後、グループをつくり、毎日のHRの時間などに、自分が決めた学習に取り組んだかどうかを確認し合う。そして、グループシートのマスに取り組んだ人数分の○を書き込む。グループで日々の進捗を共有することで、「みんなと一緒に頑張る」といった気持ち醸成させるとともに、ほかの生徒が取り組んでいる学習内容に興味を持たせるのがねらいだ。3教科の10分学習すべてに取り組んだら○を1つ書く、あるいは取り組んだ教科の数だけ○を書くなどのルールは、クラスの状態に応じて決めていくこととした。

次ページでは、3人の先生方の検討の様子をダイジェストで紹介!



このマークのある図版は、加工可能なデータとして、ベネッセ教育総合研究所のウェブサイト (<http://berd.benesse.jp>) からダウンロードできます。「HOME → 教育情報 → 高校向け → 生徒指導・進路指導ツール集」をご覧ください。

2年生 1学期 模試への意識づけシート



活用の流れ

- 1 過去問題を解いた結果を基に、個人シートに最低限の学習内容を記入
- 2 グループシートで学習の積み重ねを毎日記録する
- 3 グループシートを教室内に掲示し取り組み状況を競い合う

生徒の多忙さを認め、**スモールステップを設定させる**

部活動や学校行事の中心となる2年生は、どうしても学習に充てる時間が少なくなり、そもそも日々の授業の予習・復習で精いっぱいである。従って、自分の弱点が分かっても、その対策に着手する余裕がない。だからこそ、1日10分程度の短時間でできる範囲で、「ここだけは」という優先的に取り組むべき内容を明確にすることが重要であるということを確認した。また、模試の対策は個別指導になりがちだが、担任もその時間がなかなか取れていない現状を踏まえると、生徒一人ひとりが自ら課題を見つけ、集団の力で学習に

取り組むような工夫をするとういのではないかとこの仮説に到達した。そこで、これまでのシートを「個人シート」と位置づけ、最低限これだけはという学習内容を自己決定し、取り組むべきスモールステップを宣言する場とした。さらに、生徒同士で学習への取り組みを励まし合う「グループシート」を運用し、それを教室内に掲示するなどして、学習実績をグループ間で競い合う形とした。

なお、グループシートにメンバー個々の学習内容を記入するかどうかについては、「ほかの人の学習内容を知ること勉強になる」「自分の学習内容を知られたくない生徒もいる」という意見に分かれた。

検討メンバーの先生に、自身の指導観や自校の生徒特性を踏まえて、ツールの活用方法や留意点などをお話いただきました

個々の積み重ねを肯定し合える雰囲気を作りたい

千葉県・私立成田高校 佐藤杏奈 さとう あんな



本校では、1年生で初めて受験する模試以降、「模試は自分の可能性を知るためのものだから、できる限りの準備をして臨もう」と繰り返し生徒に話します。意識づけシートも、生徒に無理なく学習計画を立てさせようと改良を重ねてきましたが、生徒間の意識の持ち方や取り組みの差はなかなか解消できていませんでした。今回、他校の先生方との話し合いの中で、教師が引っ張るのではなく、生徒に委ねてみるというグループワークへの発想の転換ができました。確かに、生徒同士での対話を通じて、それぞれが学習への意識を高めていくのは、教師にとっても負担が少なく、現実的です。

自らスモールステップを設定して臨む、各教科1日10分間の学習は、学習習慣が確立していない生徒にも取り組みやすいものでしょう。クラスの中に、できることをこつこつと積み重ね、肯定し合う雰囲気が生まれてきたら、普段から真面目に取り組んできた生徒、手がからなければ目立たない生徒も救われると思います。

佐藤先生プロフィール 教職歴3年。同校に赴任して3年目。進路指導部所属。理科。「すべての行動に、意味と考えを持たせたい」

学校プロフィール 全日制/普通科/共学/1学年約330人/2017年度入試合格実績(現役のみ)/国公立大は、東北大、筑波大、東京医科歯科大、一橋大、大阪大などに30人が合格。私立大は、慶應義塾大、上智大、東京理科大、早稲田大などに延べ447人が合格。

取り組みを形骸化させない教師のかかわりが重要

長野県屋代高校・附属中学校 宇都宮 仁 うつのみや・じん



2年生のうちに主体的な学習習慣が確立でき、休み時間などの隙間時間をうまく使えるようになってきた生徒は、3年生での受験モードへの切り替えがスムーズです。ただ、主体的な学習習慣の確立は、1・2年生の段階から「学習計画の立案→実行→検証・修正」のサイクルを模試だけでなく定期考査も含めて繰り返していかないと、身につくいきません。今回の意識づけシートは、1年を通して継続的に使うことで、より大きな効果を生徒に与えてくれるはずです。

活動そのものは生徒が主体的に進めていくべきですが、教師は取り組みが形骸化しないように見守る必要があります。10分間の学習の内容が伴っていないのに「まあ、いいか」と許すような甘えが生徒に生まれないように、教師から刺激を与えることが重要です。私なら、試験前に予想問題と解答例作りをグループで挑戦させてみるかもしれません。そういう意味では、生徒に任せっきりにせず、グループ分けも、学力別や優先教科別など工夫したいですね。

宇都宮先生プロフィール 教職歴28年。同校に赴任して7年目。キャリア教育係主任。国語科。「生徒の『直観』と『情熱』を育てていきたい」

学校プロフィール 全日制／普通科・理数科／共学／1学年約280人／2017年度入試合格実績（現役のみ）／国立大は、北海道大、東京工業大、名古屋大、京都大などに114人が合格。私立大は、中央大、早稲田大、同志社大、立命館大などに延べ279人が合格。

学習における集団づくりの価値を広く共有したい

高知県・私立土佐塾中学・高校 藤澤 佑介 ふじさわ・ゆうすけ



模試を活用した本校の指導は、教師と生徒が1対1で向き合っているのが定石です。しかし、担任がすべての生徒を見ていくのは容易ではありません。集団の力を生かすという発想は、その課題において有効かもしれないと思えました。学校行事の中心になる2年生にとっては、力を合わせて行事に取り組める集団づくりにもつながりますし、3年生になる前に「受験は団体戦」であることを意識させる土壌づくりにもなるでしょう。グループでそれぞれが取り組んだ学習内容を共有することで、学習の仕方を学べるのもよいですね。模試だけでなく、定期考査でも試してみたいです。ただし、グループ活動が苦手な生徒もいるでしょうから、個別面談で学習状況をチェックすることも継続していくべきでしょう。

集団を意識することで生徒の成長につながるという大きなストーリーは、ぜひ学年団で共有したいと思っています。そして、そのストーリーは教師だけのものにとどめず、生徒や保護者にも伝えていきたいですね。

藤澤先生プロフィール 教職歴12年。同校に赴任して12年目。英語科教科部長。「教師が伸びれば生徒も伸びる。チャレンジする姿勢を忘れない」

学校プロフィール 全日制／普通科／共学／1学年約200人／2017年度入試合格実績（現役のみ）／国立大は、東北大、名古屋大、京都大、神戸大などに61人が合格。私立大は、慶應義塾大、早稲田大、同志社大、立命館大などに延べ349人が合格。

改良したいのに、どうすべきか分からない……

指導ツールを募集しています！

「改良！ 指導ツール ビフォーアフター」では、取材にご協力いただける先生及び取材で検討させていただく「指導ツール」を募集しています。「自校で長年使っているツールを見直したい」「ツールのより効果的な活用法を検討したい」といった、課題意識をお持ちの先生方のご応募をお待ちしております。

〈個人情報の取り扱いについて〉をご確認いただき、必要事項①～④をご入力の上、指導ツールを添付して下記のe-mailアドレスにご送信ください。

※送信前に一度、生徒様の情報が削除されているかご確認をお願いいたします

- ①学校名・お名前
- ②分掌・ご教職歴
- ③ツールの内容（目的・活用時期・活用方法）
- ④ツールに対する課題意識、改善要望

view21_since-1975@mail.benesse.co.jp

〈個人情報の取り扱いについて〉 この「改良！ 指導ツール ビフォーアフター」のツール募集でご提供いただく個人情報は、今後の企画を検討する目的で利用いたします。お客様の意思によりご提供いただけない部分がある場合、手続き・サービス等に支障が生じることがあります。また、商品発送等で個人情報の取り扱いを業務委託しますが、厳重に委託先を管理・指導します。個人情報に関するお問い合わせは、個人情報お問い合わせ窓口（0120-924721、通話料無料、年末年始を除く、9時～21時）にて承ります。（株）ベネッセコーポレーション CPO（個人情報保護最高責任者）
上記をご承諾くださる方はご送信ください。

*プロフィールは2018年3月時点のものです